

肺癌に対して重粒子線治療を受けた患者さんへ

量子科学技術研究開発機構では、心房細動に対する重粒子線治療とVMAT（通常のX線による強度変調回転照射法）の線量比較に関する研究を行っております。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 心房細動に対する重粒子線治療とVMATの線量比較

[実施期間] 許可日～2023年3月31日

[研究機関] 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院

[研究責任者] 若月 優

[研究の目的] 本研究は胸部に対して重粒子線治療を施行した肺癌患者さんの治療計画の画像データに含まれる心臓のCT画像を用いて、心房細動に対する重粒子線治療およびVMAT（強度変調回転照射法）を行った場合のシミュレーション治療計画を作成し、その線量分布を比較検討します。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

2018年1月1日から2021年3月31日までにQST病院（旧 放射線医学総合研究所病院）で肺癌に対する重粒子線治療を受けた方

●利用する情報及び利用方法

患者さんの治療計画に用いたCT画像データをQST病院医療用画像管理システムからID、名前などの個人を識別できる情報を全て削除し、新たな番号を付けて匿名化し、どの研究対象者の情報かがわからないようにして抽出し、厳格に管理して利用いたします。

[個人情報の取り扱い]

集めた情報は、研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2021年6月30日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。なお、上記期間を過ぎても問合せをお受けしていますが、受け付けた時点で既に個人と切り離されて集計されたデータについては取り除くことができません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門

QST病院 治療課 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

